

仕 様 書

I 概 要

- 1 年度及び名称 令和 5 年度及び令和 6 年度和歌山県工業技術センター電力調達
- 2 需要場所 和歌山県工業技術センター
和歌山県和歌山市小倉 60 番地
- 3 業種及び用途 官公署（公設研究機関）

II 仕 様

- 1 供給電気方式、供給電圧（標準電圧）、計量電圧（標準電圧）、標準周波数、供給方式、蓄熱式負荷設備、発電設備等

- (1) 供給電気方式 交流 3 相 3 線式
- (2) 供給電圧（標準電圧） 6,000V
- (3) 計量電圧（標準電圧） 6,000V
- (4) 標準周波数 60Hz
- (5) 供給方式 1 回線受電
- (6) 蓄熱式負荷設備 無
- (7) 発電設備 常用太陽光発電装置
 - (ア) 電池容量・ユニット数 30KW
 - (イ) 用 途 常用
 - (ウ) 定格電圧 200V
 - (エ) 系統連系の有無 有
 - (オ) アンシラリーサービス料対象容量 0kW

- 2 予定契約電力及び予定調達電力量

- (1) 予定契約電力 380kW

契約電力とは、契約上使用できる電気の最大電力をいい、30 分最大需要電力計により計測し、算定される値が原則としてこれを超えないものとする。各月の契約電力は、その 1 か月の最大需要電力と前 11 か月の最大需要電力のうち、いずれか大きい値とする。

- (2) 予定調達電力量 1,629,023kWh

令和 6 年 3 月 1 日 0 時 00 分 ~ 令和 7 年 2 月 28 日 24 時 00 分までの電力量見込み月別の予定調達電力量は、次のとおりとし、実際の使用電力量は、予定使用電力量を上回りや下回りすることができる。

月別予定調達電力量

(単位：kWh)

| 年 月 | 予定調達電力量 | 蓄熱（再掲） |
|----------|-----------|--------|
| 令和6年3月分 | 140,699 | |
| 令和6年4月分 | 121,925 | |
| 令和6年5月分 | 124,233 | |
| 令和6年6月分 | 120,585 | |
| 令和6年7月分 | 154,453 | |
| 令和6年8月分 | 150,897 | |
| 令和6年9月分 | 138,782 | |
| 令和6年10月分 | 122,727 | |
| 令和6年11月分 | 123,236 | |
| 令和6年12月分 | 149,330 | |
| 令和7年1月分 | 148,707 | |
| 令和7年2月分 | 133,449 | |
| 合 計 | 1,629,023 | |

3 契約期間

自 令和6年3月1日0時00分 から 至 令和7年2月28日24時00分

4 電力量等の検針

自動検針装置 有

電力会社の検針方法 遠隔自動検針

計量器の構成 電力需給用複合計器（通信機能付）

5 需給地点

和歌山県工業技術センターの構内柱に設置した引込開閉器の電源側の接続点（1箇所）

6 電気工作物の財産分界点

需給地点に同じ

7 保安上の責任分界点

需給地点に同じ

III その他

1 力率は、自動力率調整装置を設置し、契約期間中 100%を保持する予定。

2 フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。

3 料金その他を計算する場合の単位及びその端数処理は次のとおりとする。

(1) 契約電力及び最大需要電力の単位は、1kW とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。

(2) 使用電力量の単位は、1kWh とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。

(3) 力率の単位は、1% とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。

(4) 料金その他の計算における合計金額の単位は、1円 とし、その端数は、小数点以下を切り捨てる。

- 4 力率の変動、その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他の供給条件については、当該地域を管轄した一般電気事業者であった小売電気事業者が定める電気供給条件（特別高圧・高圧）（2023年4月1日実施）、高圧負荷率別契約S（主契約料金表）（2023年4月1日実施）による。
- 5 燃料費調整額の算定は、公告の日に実施されている当該地域を管轄した一般電気事業者であった小売電気事業者が定める電気供給条件（特別高圧・高圧）（2023年4月1日実施）を契約終了日まで用いること。